

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月7日

上場会社名 株式会社 ロブテックス

上場取引所 大

コード番号 5969 URL <http://www.lobtex.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 地引 俊為

問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員 管理本部長 (氏名) 豊島 尚規

TEL 072-980-1110

四半期報告書提出予定日 平成21年8月11日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	1,026	△21.4	66	—	52	—	11	—
21年3月期第1四半期	1,305	—	△92	—	△112	—	△78	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	1.27	—
21年3月期第1四半期	△8.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭	%	
22年3月期第1四半期	7,047	—	1,704	—	23.6	176.42	—	
21年3月期	7,125	—	1,682	—	23.0	174.26	—	

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 1,661百万円 21年3月期 1,641百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	0.00	0.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

当社は定款において期末日を基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。(「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」の欄をご覧ください。)

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	2,310	△24.7	79	—	28	—	5	—	0.53
通期	4,830	△8.7	245	—	140	—	85	—	9.02

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
〔注〕詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 - ② ①以外の変更 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第1四半期 | 10,000,000株 | 21年3月期 | 10,000,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年3月期第1四半期 | 581,732株 | 21年3月期 | 580,439株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第1四半期 | 9,418,368株 | 21年3月期第1四半期 | 9,502,301株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 1.上記の業績予想は、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき判断したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、4ページ「定性的情報・財務諸表等 3.連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- 2.平成22年3月期の期末配当予想については、今後の業績が不透明であるため現時点では未定としております。年度業績等を勘案した上で配当予想額の開示が可能になった時点で速やかに開示を行うものいたします。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期のわが国経済は在庫調整の進展により一部に景気回復の兆しが見られましたものの、昨秋以降の急激な世界規模の景気後退の影響が継続し、雇用情勢の悪化や個人消費の低迷、設備投資が抑制されるなど、厳しい状況で推移しました。

このような状況の下、当社グループは2009年度の経営スローガンとして「グループ全員一丸となり、飛躍に向けての足場を固め、新しいロブテックスを創る」を掲げ、グループ全員が同じ思いを持ち、何を成すべきかを考え、企業体質の更なる改善による基礎固めを行い、創業120年の歴史を超え、新たに「新生ロブテックス」へと変革する初年度として活動してまいりました。営業部門におきましては、マーケティング機能を充実させ、商品戦略の方向性を明確にいたしますと共に、特約店制度におけるポイント制の実施やエンドユーザーへの営業活動の深耕による売上確保並びに営業サポート部門の設置による営業活動の効率化を図ってまいりました。生産・開発部門におきましては、多能工化・標準化・単純化によるスリムな生産体制での利益確保や高付加価値商品への取り組みによる生産技術力の強化を目指しますと共に、提案型商品及び次世代商品の開発を強化し、売上の伸長を図ってまいりました。その結果、売上高は前年同期比21.4%減の10億2千6百万円（前年同期13億5百万円）となりましたが、利益面では、営業利益で6千6百万円（前年同期は9千2百万円の営業損失）、経常利益で5千2百万円（同1億1千2百万円の経常損失）、四半期純利益で1千1百万円（同7千8百万円の純損失）と利益を確保することができました。

事業の種類別セグメント業績は次のとおりです。

<金属製品事業>

売上につきましては、国内・海外共に拡販に注力いたしましたが、引き続き景気悪化の影響を受け、前年同期に比し各品種において減少し、売上高は前年同期比22.8%減の9億5千万円（前年同期12億3千1百万円）となりました。利益面では、売上は大幅に減少いたしましたものの、人件費を中心とした経費削減と組織の効率化に加え、前年度に実施いたしました販売価格の改定効果もあって、利益率が改善し、2千万円の営業利益（同1億3千5百万円の営業損失）となりました。

<レジャー事業（ゴルフ練習場）>

お客様一人当たりの売上高は減少しましたが入場者数は増加し、レジャー事業の売上高は前年同期比2.5%増の7千5百万円（前年同期7千4百万円）となり、営業利益は同8.6%増の4千5百万円（同4千2百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における総資産は前期末に比べ7千7百万円減の70億4千7百万円となりました。

<資産>

流動資産は現金及び預金や受取手形及び売掛金が増加しましたが、たな卸資産が減少し、前期末比7百万円減の36億2千8百万円となりました。固定資産は有形固定資産の減価償却を主要因に同6千9百万円減の34億1千2百万円となりました。

<負債>

流動負債は短期借入金及び買掛金の減少などにより、前期末比8千8百万円減の35億1千1百万円となりました。固定負債は長期借入金が増加しましたが、役員退職慰労引当金やリース債務等の減少により、同1千万円減の18億3千1百万円となりました。

<純資産>

当第1四半期純利益の計上による利益剰余金並びにその他有価証券評価差額金の増加を主因に前期末に比し2千2百万円増加し、17億4百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、前期末に比べ資金が7千4百万円増加し、当四半期末には10億8千1百万円となりました。キャッシュ・フローの区分別の概要は次のとおりです。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

売掛債権の増加や仕入債務の減少がありました。たな卸資産の減少や減価償却費の計上、税金等調整前四半期純利益の計上により、資金が1億1千9百万円増加しました。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

有形固定資産の取得を主因に、資金が6百万円減少しました。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

リース債務の返済による支出を主因に資金が3千9百万円減少しました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期業績は、概ね当初に想定した範囲内で推移しており、平成21年5月14日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ簿価切下げを行う方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

財務制限条項

当社は、機動的かつ安定的な資金調達を行うため、取引金融機関とのシンジケーション方式によるコミットメントライン契約を締結しております。

この契約には単体ベースにおいて下記のとおり財務制限条項が付されており、これに抵触した場合、多数貸付人からの要請があれば、期限の利益を喪失し、借入金の元本並びに利息及び清算金等を支払う義務を負っております。

(イ) 貸借対照表における純資産の部の合計金額から新株予約権及び繰延ヘッジ損益の合計金額を控除した金額を前事業年度末の75%以上とすること。

(ロ) 損益計算書における経常損益を2期連続で損失としないこと。

(ハ) 貸借対照表における有利子負債(短期借入金・長期借入金・社債・割引手形等)の合計金額から現金及び預金の合計金額を控除した金額が、損益計算書における営業損益、受取利息、受取配当金及び減価償却費の合計金額を15倍した金額を上回らないこと。

なお、前連結会計年度につきましては上記財務制限条項に抵触しておりますが、多数貸付人から期限の利益喪失請求を行わない旨確認しております。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,181,907	1,107,716
受取手形及び売掛金	701,271	673,306
商品及び製品	997,135	1,091,344
仕掛品	295,637	288,902
原材料及び貯蔵品	366,393	375,960
その他	88,392	100,746
貸倒引当金	△1,859	△1,834
流動資産合計	3,628,878	3,636,142
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,162,647	1,181,580
土地	741,388	741,388
その他（純額）	1,142,487	1,181,981
有形固定資産合計	3,046,523	3,104,950
無形固定資産	101,831	105,407
投資その他の資産	264,180	271,512
固定資産合計	3,412,535	3,481,871
繰延資産	6,260	7,139
資産合計	7,047,673	7,125,153
負債の部		
流動負債		
買掛金	125,399	160,832
短期借入金	3,113,178	3,168,994
未払法人税等	11,379	26,274
その他	261,614	244,317
流動負債合計	3,511,571	3,600,418
固定負債		
社債	800,000	800,000
長期借入金	426,678	375,140
退職給付引当金	48,010	60,858
役員退職慰労引当金	3,120	29,185
その他	553,814	577,215
固定負債合計	1,831,623	1,842,398
負債合計	5,343,194	5,442,817
純資産の部		
株主資本		
資本金	960,000	960,000
資本剰余金	491,045	491,045
利益剰余金	342,482	330,502
自己株式	△147,720	△147,559
株主資本合計	1,645,807	1,633,989
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	15,748	7,434
評価・換算差額等合計	15,748	7,434
少数株主持分	42,921	40,912
純資産合計	1,704,478	1,682,335
負債純資産合計	7,047,673	7,125,153

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	1,305,826	1,026,633
売上原価	930,046	654,248
売上総利益	375,780	372,385
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	151,051	104,840
その他	317,680	200,775
販売費及び一般管理費合計	468,732	305,616
営業利益又は営業損失(△)	△92,951	66,769
営業外収益		
受取利息	425	259
受取配当金	968	1,019
仕入割引	4,007	1,615
その他	9,846	11,766
営業外収益合計	15,248	14,661
営業外費用		
支払利息	13,433	17,065
売上割引	16,930	8,800
その他	4,351	3,557
営業外費用合計	34,715	29,422
経常利益又は経常損失(△)	△112,419	52,007
特別利益	—	25
特別損失		
固定資産除却損	80	—
その他	—	7,303
特別損失合計	80	7,303
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△112,499	44,729
法人税等	△35,819	30,831
少数株主利益	2,287	1,917
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△78,967	11,979

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△112,499	44,729
減価償却費	40,665	77,125
貸倒引当金の増減額(△は減少)	20,907	△170
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,374	△12,848
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△2,080	△26,065
受取利息及び受取配当金	△1,394	△1,279
支払利息	13,433	17,065
有形固定資産売却損益(△は益)	80	—
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△25
売上債権の増減額(△は増加)	564,237	△27,965
たな卸資産の増減額(△は増加)	△157,274	97,041
その他の資産の増減額(△は増加)	△105,277	10,370
仕入債務の増減額(△は減少)	18,590	△35,433
その他の負債の増減額(△は減少)	43,048	16,563
その他	△34,088	—
小計	289,722	159,109
利息及び配当金の受取額	1,286	1,178
利息の支払額	△15,549	△14,151
法人税等の支払額	△15,014	△26,222
営業活動によるキャッシュ・フロー	260,445	119,914
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△63,500	△4,566
投資有価証券の取得による支出	△1,146	△1,237
投資有価証券の売却による収入	—	75
その他	△4,768	△374
投資活動によるキャッシュ・フロー	△69,415	△6,103
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	130,000	△43,336
長期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	△75,032	△60,942
リース債務の返済による支出	—	△35,181
自己株式の取得による支出	△1,951	△161
配当金の支払額	△95,085	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△42,068	△39,620
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	148,961	74,190
現金及び現金同等物の期首残高	619,798	1,007,716
現金及び現金同等物の四半期末残高	768,760	1,081,907

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

①事業の種類別セグメント

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	金属製品事業 (千円)	レジャー事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,231,759	74,066	1,305,826	—	1,305,826
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,231,759	74,066	1,305,826	—	1,305,826
営業利益(又は営業損失△)	△135,222	42,270	△92,951	—	△92,951

(注) 1 事業区分は当社の事業の内容に照らし、金属製品事業とレジャー事業に分類しております。

2 各区分の主な製品

金属製品事業……ハンドツール(レンチ・プライヤ・圧着工具等)、ファスニングツール(リベッター・ナッター等)、工業用ファスナー(リベット・ナット等)、切削工具(ダイヤモンドホイール・ドリル等)などの製造販売

レジャー事業……ゴルフ練習場

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	金属製品事業 (千円)	レジャー事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	950,744	75,889	1,026,633	—	1,026,633
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	950,744	75,889	1,026,633	—	1,026,633
営業利益	20,877	45,891	66,769	—	66,769

(注) 1 事業区分は当社の事業の内容に照らし、金属製品事業とレジャー事業に分類しております。

2 各区分の主な製品

金属製品事業……ハンドツール(レンチ・プライヤ・圧着工具等)、ファスニングツール(リベッター・ナッター等)、工業用ファスナー(リベット・ナット等)、切削工具(ダイヤモンドホイール・ドリル等)などの製造販売

レジャー事業……ゴルフ練習場

②所在地別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

本邦以外の国または地域に所在する支店及び連結子会社はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

本邦以外の国または地域に所在する支店及び連結子会社はありません。

③海外売上高

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	東アジア	北中米	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	148,932	35,009	3,524	21,732	209,199
II 連結売上高(千円)					1,305,826
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	11.4	2.7	0.3	1.6	16.0

(注) 1 国又は地域の区分は、地理の近接度によっています。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 東アジア……韓国、台湾

(2) 北中米……アメリカ

(3) 欧州……ドイツ

(4) その他……オーストラリア

3 海外売上高は、当社の本邦以外の国又は地域における売上高です。

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	東アジア	北中米	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	86,926	7,656	6,523	14,147	115,253
II 連結売上高(千円)					1,026,633
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	8.5	0.7	0.6	1.4	11.2

(注) 1 国又は地域の区分は、地理の近接度によっています。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 東アジア……韓国、台湾

(2) 北中米……アメリカ

(3) 欧州……ドイツ

(4) その他……オーストラリア

3 海外売上高は、当社の本邦以外の国又は地域における売上高です。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。